

2025 年 12 月 2 日

二酸化炭素地中貯留技術研究組合

CCSテクニカルワークショップ2026

～大規模CCSの事業化に向けて：技術・政策両面からのアプローチ～
開催について

我が国において、2024年5月にCCS事業法が公布され、また、経済産業省、JOGMECが主導する先進的CCS事業が加速するなど、CCSの事業化に向けた環境が整備されつつあります。

二酸化炭素地中貯留技術研究組合においても、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業として、CCS事業展開に欠かせない安全性向上やコスト削減に寄与する技術開発を推進しています。特に、実サイトにおける光ファイバーによるマルチセンシング技術の現場実証、CO2貯留サイト周辺の断層安全性・健全性の評価手法の開発を進めており、国内外から高い評価を得ています。また、「CO2排出源データベース」や「CCS事業コスト試算ツール」の構築など、CCSの経済性評価や政策立案支援に資する研究にも取り組んでいます。

本ワークショップでは、まず、当技術研究組合からCCS事業化に向けたR&Dの役割と取り組みについて報告いたします。次いで、当組合と共同研究をしている米国ノースダコタ大学エネルギー・環境研究センター（EERC）より、ノースダコタ州における大規模CCSプロジェクトの事例やCCS事業化について紹介します。一方、CCSの普及拡大に向けて様々な支援を行っている米国エネルギー省より、米国のCCS政策と事業化支援について講演いただき、更には、JOGMECより先進的CCS支援事業の取り組み状況を紹介します。

また、ポスターセッション、意見交換会を併催し、講演者、当技術研究組合の研究員との意見交換、議論の場をご用意します。

我が国、また海外のCCS事業化に向けての最新動向にご関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1. 開催概要

日程	2026年1月21日（水） 13:00～17:30（受付開始12:15）
会場	JPタワーホール&カンファレンス（東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE 4F） および web配信 入場無料、言語：日本語・英語（同時通訳有り）
主催 （組合員）	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 ・応用地質株式会社・株式会社INPEX・石油資源開発株式会社 ・大成建設株式会社・電源開発株式会社・ENEOS Xplora株式会社 ・伊藤忠石油開発株式会社・三菱ガス化学株式会社 ・株式会社地球科学総合研究所・株式会社東邦アーステック ・JX金属探開株式会社・国立研究開発法人産業技術総合研究所 ・公益財団法人地球環境産業技術研究機構
共催	経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

開催案内URL <https://www.rite.or.jp/news/events/2025/12/ccs2026.html>

2. プログラム (案)

(敬称略)

モデレーター：京都大学 名誉教授 松岡 俊文

時刻	演題 (仮題)	登壇者
12:15	開場 (受付・ポスター展示 開始)	
13:00～13:05	開会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 平松 晋一
13:05～13:10	共催者挨拶	経済産業省 資源エネルギー庁 資源燃料部 燃料環境適合利用推進課 CCS政策室長 慶野 吉則
13:10～13:15	共催者挨拶	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 サーキュラーエコノミー部 部長 福永 茂和
13:15～13:20	趣旨説明	京都大学 名誉教授 松岡 俊文
13:20～14:20	講演1 (CCS事業化に向けたR&Dの役割と取り組み)	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
14:20～15:20	講演2 (米国ノースダコタ州におけるCCSプロジェクトの最新動向と事業化)	Kevin Connors Assistant Director for Regulatory Compliance and Energy Policy 米国ノースダコタ大学 エネルギー・環境研究センター (EERC)
15:20～16:00	ポスターセッション & コーヒーブレイク	
16:00～17:00	講演3 (米国におけるCCS政策と事業化支援)	米国エネルギー省 (DOE) TBD
17:00～17:20	講演4 (先進的CCS支援事業 (CCS事業化に向けての取り組み))	独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源 機構 (JOGMEC) CCS事業部 部長 北村 龍太
17:20～17:25	総括	京都大学 名誉教授 松岡 俊文
17:25～17:30	閉会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事 下田 吉之
(閉会后)	意見交換会 (会費制: 3,000 円) 、 ポスター展示	

※講演者、演題、講演時間等に変更になる場合があります。

3. 参加登録

下記のとおり、(1) オンライン登録、または (2) E-mail にて、お申し込み下さい。

(ア) オンライン登録

【開催案内・参加登録】 <https://www.rite.or.jp/news/events/2025/12/ccs2026.html>

(イ) E-mail でのお申し込み

【宛先】 ccsws@rite.or.jp

【記入事項】

1. ご希望の参加方法（会場参加／Web 配信）：
2. 意見交換会（会費制 3,000 円）（参加／不参加）：
3. お名前（漢字）： 4. お名前（かな）： 5. 会社名（漢字）： 6. 会社名（かな）：
7. 部署名： 8. 役職名： 9. Email アドレス：
10. 今後の関連イベント案内の送付：（可／不可）

(ウ) 参加お申し込み締め切り

会場参加を希望される場合: 2026 年 1 月 13 日（火）

web 配信を希望される場合: 2026 年 1 月 16 日（金）

参加登録に関するお問い合わせ先:

CCS ワークショップ 2026 事務局

TEL: 03-5549-6911 E-mail: ccsws@rite.or.jp

ワークショップの内容に関するお問合せ先:

二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部 技術研究第一グループ 名井、中西、平井

TEL: 0774-75-2309 E-mail: ccsws@rite.or.jp

本プレス発表に関するお問合せ先:

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ

TEL: 0774-75-2301 E-mail: pub_rite@rite.or.jp

<添付資料>

CCS テクニカルワークショップ 2026 リーフレット

CCSテクニカルワークショップ2026

～大規模CCSの事業化に向けて:技術・政策両面からのアプローチ～

日程 2026年1月21日(水)
13:00～17:30(受付開始12:15)

会場 JPタワーホール&カンファレンス および Web配信

主催 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

共催 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

入場無料

言語:日本語・英語 (同時通訳有り)

ワークショップ終了後、意見交換会を実施します。(会費制:3千円)

モデレーター: 京都大学 名誉教授 松岡 俊文

(敬称略)

時刻	演題(仮題)	登壇者
12:15	開場(受付・ポスター展示 開始)	
13:00～13:05	開会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 平松 晋一
13:05～13:10	共催者挨拶	経済産業省 資源エネルギー庁 資源燃料部 燃料環境適合利用推進課 CCS政策室長 慶野 吉則
13:10～13:15	共催者挨拶	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 サーキュラーエコノミー部 部長 福永 茂和
13:15～13:20	趣旨説明	京都大学 名誉教授 松岡 俊文
13:20～14:20	講演1 (CCS事業化に向けたR&Dの役割と取り組み)	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
14:20～15:20	講演2 (米国ノースダコタ州におけるCCSプロジェクトの最新 動向と事業化)	Kevin Connors Assistant Director for Regulatory Compliance and Energy Policy 米国ノースダコタ大学 エネルギー・環境研究センター(EERC)
15:20～16:00	ポスターセッション & コーヒーブレイク	
16:00～17:00	講演3(米国におけるCCS政策と事業化支援)	米国エネルギー省(DOE) TBD
17:00～17:20	講演4(先進的CCS事業(CCS事業化に向けての取り組み))	独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) CCS事業部 部長 北村 龍太
17:20～17:25	総括	京都大学 名誉教授 松岡 俊文
17:25～17:30	閉会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事 下田 吉之
(閉会后)	意見交換会(会費制)、ポスター展示	

※講演者、演題、講演時間等は変更になる場合があります。



二酸化炭素地中貯留技術研究組合
Geological Carbon Dioxide Storage Technology Research Association



二酸化炭素地中貯留技術研究組合には下記の法人が参画しています。

・応用地質株式会社・株式会社INPEX・石油資源開発株式会社・大成建設株式会社・電源開発株式会社・ENEOS Xplora株式会社
・伊藤忠石油開発株式会社・三菱ガス化学株式会社・株式会社地球科学総合研究所・株式会社東邦アーステック
・JX金属探開株式会社・国立研究開発法人産業技術総合研究所・公益財団法人地球環境産業技術研究機構

開催趣旨

我が国において、2024年5月にCCS事業法が公布され、また、経済産業省、JOGMECが主導する先進的CCS事業が加速するなど、CCSの事業化に向けた環境が整備されつつあります。

二酸化炭素地中貯留技術研究組合においても、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業として、CCS事業展開に欠かせない安全性向上やコスト削減に寄与する技術開発を推進しています。特に、実サイトにおける光ファイバーによるマルチセンシング技術の現場実証、CO2貯留サイト周辺の断層安全性・健全性の評価手法の開発を進めており、国内外から高い評価を得ています。また、「CO2排出源データベース」や「CCS事業コスト試算ツール」の構築など、CCSの経済性評価や政策立案支援に資する研究にも取り組んでいます。

本ワークショップでは、まず、当技術研究組合からCCS事業化に向けたR&Dの役割と取り組みについて報告いたします。次いで、当組合と共同研究をしている米国ノースダコタ大学エネルギー・環境研究センター（EERC）より、ノースダコタ州における大規模CCSプロジェクトの事例やCCS事業化について紹介します。一方、CCSの普及拡大に向けて様々な支援を行っている米国エネルギー省より、米国のCCS政策と事業化支援について講演いただき、更には、JOGMECより先進的CCS支援事業の取り組み状況を紹介します。

また、ポスターセッション、意見交換会を併催し、講演者、当技術研究組合の研究員との意見交換、議論の場をご用意します。

会場へのアクセス

JPタワーホール&カンファレンス

東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
KITTE 4階

<https://www.jptower-hall.jp/#access>

- ・ JR東京駅 徒歩約1分 丸の内線東京駅 地下道より直結
- ・ 千代田線二重橋前<丸の内>駅 徒歩約2分
- ・ 三田線大手町駅 徒歩約4分
- ・ JR京葉線東京駅 徒歩約3分
- ・ 有楽町線有楽町駅 徒歩約6分
- ・ JR有楽町駅 徒歩約6分



■開催案内

<https://www.rite.or.jp/news/events/2025/12/ccs2026.html>

■申込方法

上記サイトからお申込をお願いいたします。

会場参加申込締切： 2026年1月13日(火)

Web 配信申込締切： 2026年1月16日(金)

■お問合せ先

CCSワークショップ2026 事務局 Eメール: ccsws@rite.or.jp TEL:03-5549-6911

サイトからご登録ができない場合は以下の記載事項をご記入の上、までEメールでお申し込みください。

参加申し込み記載事項

1. ご希望の参加方法：（会場参加・Web配信）
2. 意見交換会：（参加・不参加）
3. お名前（漢字）：
4. お名前（かな）：
5. 会社名（漢字）：
6. 会社名（かな）：
7. 部署名：
8. 役職名：
9. Emailアドレス：
10. 今後の関連イベント案内の送付：（可・不可）

※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。